

福島県消防士のヘルメットを ウクライナの博物館へ

ウクライナのチェルノブイリ原発事故では直後の火災発生などにより消防士が第一線に出て事故処理に携わらざるを得ない状況でした。ジトーミル市には消防博物館が既に開設されており、コロステン市においても同様な施設を新たに開設するに当たり世界各国の消防士のヘルメットを蒐集して展示したいとの思いに至り、同じ原発事故を経験した『フクシマ』のヘルメットを是非加えたいと蒐集協力の要請がありました。この要請を受け『チェルノブイリ救援・中部』として現地の『放射能測定センター・南相馬(とどけ鳥)』を経由して南相馬市役所をお願いした処、ヘルメットの提供を受ける事が出来ました。

『チェルノブイリ救援・中部』は毎年、ウクライナ・チェルノブイリへ代表団を派遣しており、今年は12月を予定していますので、その際に現地にお届けしたいと考えています。今回お世話になった南相馬市の田林副市長、福島県相馬地方広域消防本部のご担当者の皆様に御礼申し上げますと共に、福島第一原発、チェルノブイリ原発事故により放射能被害を受けた両国間で連帯出来ればと期待しております。

下) 提供されたヘルメット

右) 南相馬市田林副所長から贈呈
を受ける



NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部
〒460-0012 愛知県名古屋市中央区千代田 5-11-33
☎052(228)6813 chqchubu@biglobe.ne.jp

放射能測定センター・南相馬『とどけ鳥』
〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町 2-67
☎0244(24)5166 todokedori@sokutei-minamisoma.org

